

飛騨に大学がやってきた!!

受講生募集

オープンカレッジ in 飛騨

2023

【主催】飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会
(岐阜県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村)

【協力】一般財団法人 飛騨高山大学連携センター
【後援】岐阜県教育委員会

1 國學院大學

開講日 10/8(日)

『観光まちづくり』のこれまでとこれから

米田 誠司(國學院大學観光まちづくり学部 教授)

- ①13:00~14:30「由布院からみる百年の『観光まちづくり』」
- ②14:40~16:10「移住、滞在、短期居住から『観光まちづくり』を考える」

地域社会をより良くする活動であるまちづくりと、地域環境をベースにした経済活動である観光の融合を図るのが『観光まちづくり』である。この概念は2000年頃に生み出されたが、由布院では百年前からその原型が形づくられ、多くの試練と様々な展開を経てきた。そのプレイヤーは地域の住民だけであったが、今では移住、滞在、短期居住する人々も含めて観光まちづくりを考えていくことが、今後地域で大きな意味を持つこととなっている。

2 愛知大学

開講日 10/14(土)

都市空間との関係性から祭礼の継承を考える

佐藤 弘隆(愛知大学地域政策学部 准教授)

- ①13:00~14:30「京都市中心部と祇園祭」
- ②14:40~16:10「犬山市城下町地区と犬山祭」

この講座では、地理学的視点から都市と祭礼との関係性を理解することを目指します。事例としては、京都祇園祭や犬山祭の歴史や現状を取り上げ、それぞれの行事運営の持続性を検討することで、現代都市における祭礼の継承のあり方を考えます。飛騨地方にも、高山祭や古川祭など魅力的な祭礼が継承されています。もし実践者や関係者の方々のご来場があれば、情報や意見の交換を行い、会場全体で本テーマについて共に考え、議論できたらと思います。

会場 / 飛騨・世界生活文化センター、他
(岐阜県高山市千島町900-1)

受講料 / 1講座 2,000円(一部の講座を除く)
※受講料の他に課外講座費等が必要な講座があります。

飛騨地域の中学生・高校生は無料で受講いただけます。
ただし、課外講座費等は必要となります。

郷土学習・探究学習にもおすすめ

郵便はがき

お手数ですが
63円切手を
お貼りください

506-0032

岐阜県高山市千島町900-1

飛騨・世界生活文化センター
オープンカレッジ係 行

オープンカレッジ in 飛騨 2023
申込書

各講座の申込締切日(2週間前)までに郵送(切手貼付)、もしくはご持参ください。
申込締切前でも申込多数の講座は締め切ります。

申込方法 次の①②いずれかの方法でお申し込みください。

- ① 右記QRコードを読み取り、応募フォームより
- ② 下記申込書を飛騨センターへ提出[郵送(切手貼付)][窓口]



電話・FAXでのお申し込みはお受けできません。

※受講者には、各講座とも申込締切日後に「受講案内」を郵送またはメール送信いたします。

その他注意事項

●申込多数の講座は、申込締切日前でも締め切りますのでご了承ください。 ●複数受講でも受講料等の割引はございません。 ●受講料等は各講座の開始前に現金で徴収いたします。 ●納入いただいた受講料等は原則として返還いたしかねます。 ●ご記入・ご入力いただいた個人情報は、「オープンカレッジ in 飛騨」の運営以外には使用いたしません。 ●天候・講師の都合等により、リモート講義に変更、または日時・講座内容の変更、中止となる場合もございます。予めご了承ください。

【お問い合わせ】

飛騨・世界生活文化センター
指定管理者 飛騨コンソーシアム



〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1
休館日/毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)
TEL.0577-37-6111 www.hida-center.jp

飛騨センター 検索

オープンカレッジ in 飛騨 2023 受講申込書 2023年 月 日

※ **必須** は必ずご記入ください。

受講希望講座番号 (4つ以上可)	講座番号	開講日・講座名・大学名
	1	10/ 8(日):『観光まちづくり』のこれまでとこれから(國學院大學)
	2	10/14(土):都市空間との関係性から祭礼の継承を考える(愛知大学)
	3	10/14(土):科学でSDGsを考える(中部大学)
	4	10/21(土):アインシュタインと宇宙(国立天文台・東京大学)
	5	10/22(日):少子高齢化時代の地域コミュニティ(國學院大學)
	6	10/28(土):スポーツ行政の世界(岐阜協立大学)
	7	10/28(土):地域の個性をみつけ、みがく(國學院大學)会場/丹生川支所
	8	10/29(日):画材から見る日本画の魅力(名古屋芸術大学)
	9	11/ 5(日):誰にもやさしいまちを創るヒント(東京都市大学)
	10	11/12(日):地域づくりのための持続可能な観光(松本大学)
	11	11/18(土):太陽の活動と宇宙天気研究(京都大学)会場/飛騨天文台
	12	11/18(土):縮小社会の自治のあり方(大正大学)
	13	11/25(土):森の動物と資源利用(岐阜大学)
	14	11/25(土):サステナブルツーリズムとワーケーションの可能性(文教大学)
	15	11/26(日):インドネシアの人びとの文化と暮らし(慶應義塾大学)
	16	11/26(日):飛騨山脈の成り立ち2023(信州大学)

ふりがな		男・女
氏名 <small>必須</small>		(歳)
住所 <small>必須</small>	〒 -	
電話番号 <small>必須</small>	-	-
メールアドレス		

申込締切:各講座とも開講日の2週間前、または申込多数の場合。但し、定員に余裕がある講座は2週間前でも申込受付しますのでお電話でご確認ください。

3 中部大学

開講日 10/14(土)

科学でSDGsを考える

山羽 基(中部大学工学部 教授)

- ①13:00~14:30「SDGsの概要と達成のための方法」
- ②14:40~16:10「SDGs達成のための科学の役割」

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、「持続可能な開発目標」と訳される国際的な枠組みです。2015年9月に国連サミットで採択されました。2030年の達成へ向けて17のゴールが設定されています。達成のために自然科学、工学だけでなく、人文社会科学の役割が重要です。SDGs達成のため科学が果たす役割を考えます。

4 国立天文台・東京大学

開講日 10/21(土)

アインシュタインと宇宙

都丸 隆行(国立天文台 教授・重力波プロジェクト長、東京大学大学院・総研大 連携教授)
陳 たん(国立天文台 助教)

- ①13:00~14:30「科学的なものの考え方と相対性理論」
- ②14:40~16:10「重力波天文学とKAGRA」

アインシュタインの相対性理論は一見我々の直感に反してとても不思議です。しかし、実は考え方はシンプルで、その正しさは様々な実験によって証明されています。「アインシュタイン最後の宿題」と言われた重力波も2015年に発見され、いまや宇宙の謎を解く必要不可欠なツールとなっています。本講座では、前半に科学的なものの考え方と不思議な相対性理論の世界を、後半に重力波を用いた宇宙観測と飛騨が誇る最新の重力波望遠鏡KAGRAについて紹介致します。

5 國學院大學

開講日 10/22(日)

少子高齢化時代の地域コミュニティ

松本 貴文(國學院大學観光まちづくり学部 准教授)

- ①13:00~14:30「少子高齢化で地域コミュニティはどう変わったのか」
- ②14:40~16:10「少子高齢化時代における地域コミュニティが主体となったまちづくり」

少子高齢化が進む今日、様々な場面で地域コミュニティの果たす役割が注目されています。その一方で、担い手の減少や地域活動の停滞などの課題も顕在化しています。この講義では、高山市と國學院大學との共同研究の成果にも触れながら、地域コミュニティがどう変わってきたのか、これからどう変わっていかうとしているのかについて考えます。

6 岐阜協立大学

開講日 10/28(土)

スポーツ行政の世界

原田 理人(岐阜協立大学 学長)

- ①13:00~14:30「スポーツ行政の世界1」
- ②14:40~16:10「スポーツ行政の世界2」

スポーツ行政といえば、一般的にはスポーツに関する政策を示すようなイメージですが、近年スポーツは「地域経済の活性化」や「地域振興」に資するものとして、国も「スポーツによる地域振興」を政策課題として掲げ、「地域のスポーツ振興」のみならず、「スポーツによる地域振興」によって、今後はスポーツが地域活性化に大きく貢献するものと認識されています。皆さんがまだ知らない驚きの「スポーツと地域の関係」を探ります。

7 國學院大學 丹生川支所講座

開講日時 10/28(土) **会場:高山市丹生川支所**
13:00~14:30

地域の個性をみつけ、みがく ～観光まちづくりで持続する地域を展望する～

清野 隆(國學院大學観光まちづくり学部 准教授)

どんな地域にも、他には代えがたい個性があります。住む人の日常と一体となって、その土地ならではの暮らしや生業を支える地域の個性、訪れる人にとって魅力的に映り、地域への共感や愛着を育む地域の個性は、豊かさや幸福が持続する地域の将来像ともにある大切な宝です。本講座では、高山市と國學院大學観光まちづくり学部による共同研究を通して丹生川地域でみつけた個性を取り上げ、個性の価値とみがき方、個性を活かした丹生川の未来を展望します。

本講座のみ1コマ(1時間半)で完結のため、受講料は1,000円となります。会場は丹生川支所となります。

8 名古屋芸術大学

開講日 10/29(日)

画材から見る日本画の魅力～体験制作・ミニ掛軸に描く日本画!

本講座は受講料の他に材料費1,500円が必要となります

長谷川 喜久(名古屋芸術大学美術領域 主任教授・日展特別会員)

- ①13:00~14:30「画材から見る日本画の魅力」
- ②14:40~16:10「体験制作・ミニ掛軸に描く日本画!」

岩絵具や水干絵具、金銀箔に砂子など様々な画材が日本画には使用されます。それらの歴史や特質から作品の魅力を探っていくことで絵画鑑賞時に於ける視野が広がり、多面的な楽しみ方ができるようになります。体験制作では、掛け軸という東洋画独自の表装に水干絵具で描きます。完成作は各自持ち帰っていただけますのでぜひご自宅に飾ってみてください。

9 東京都市大学

開講日 11/5(日)

誰にもやさしいまちを創るヒント～DXとSDGsの考え方を軸に～

西山 敏樹(東京都市大学都市生活学部 准教授)

- ①13:00~14:30「事例で学ぶDXの世界」
- ②14:40~16:10「SDGsの社会をどう創るか」

現在、誰一人取り残さない社会を目指してSDGsの実現が各所で問われています。あわせてその実現に向けてDXが注目されるようになってきました。DXはデジタルをうまく活用してウェルビーイング(幸福度)を高めようとする考え方です。あらゆる都市生活者に優しい社会をデジタル技術でどのようにつくっていけばよいのか、その考え方を事例に即して学ぶ講座です。DXやSDGsを職場で担当して色々困っている方にも最適な講座になっています。

10 松本大学

開講日 11/12(日)

地域づくりのための持続可能な観光

中澤 朋代(松本大学総合経営学部 准教授)

- ①13:00~14:30「持続可能な観光(サステナブルツーリズム)とは」
- ②14:40~16:10「飛騨各地の持続可能な観光への取り組み」

住み続けられるまちづくりに向けた観光が期待されています。2000年以降持続可能な観光が注目され、国連の定義、世界中での取り組みを経て、2020年には日本観光庁から「持続可能な観光ガイドライン」が発表されました。飛騨では高山の古い町並みや世界遺産白川郷だけでなく、松本高山Big bridge構想などの周辺地域における新たな観光の取り組みも始まっています。持続可能な観光の関係者はあらゆる住民の方であり、広いご参加を歓迎いたします。

11 京都大学 飛騨天文台講座

開講日 11/18(土) 会場:飛騨天文台

太陽の活動と宇宙天気研究

本講座は受講料の他に課外講座費3,000円が必要となります

永田 伸一(京都大学大学院理学研究科 助教)

①16:00~17:30「太陽観測と宇宙天気予報」

②18:00~19:30「眼視による天体観測」

高山市上宝町蔵柱にある京都大学飛騨天文台では、先端的な観測装置を駆使した太陽の研究を行っています。飛騨天文台の望遠鏡や、人工衛星を用いた最新研究からわかってきた、太陽活動と地球や惑星への影響について解説します。また、晩秋の夜空に輝く土星や木星などを、65cm屈折望遠鏡を用いて眼視観測をします。

集合場所から全員でのバス移動となります。自家用車で直接飛騨天文台へは行けません。14:00集合~21:15解散を予定しています。詳細は本講座の申込締切後にご連絡いたします。

12 大正大学

開講日 11/18(土)

縮小社会の自治のあり方

江藤 俊昭(大正大学社会共生学部 教授)

①13:00~14:30「政治の2つの動向:劣化と活性化」

②14:40~16:10「地方から自治を創る:その方向と手法を考える」

縮小社会における自治のあり方を考えます。投票率の低下や議員のなり手不足といった政治の廉価が進行しています。他方で、マニフェスト選挙、議会改革の進展、協働の実質化など政治の活性化と言える動向もみられます。縮小社会は、住民、議会・議員、首長等による総力戦で臨む必要があります。マニフェスト大賞審査委員や全国町村議会議長会特別表彰の審査委員を長年になってきた経験を踏まえて「縮小社会の自治のあり方」を議論します。

13 岐阜大学

開講日 11/25(土)

森の動物と資源利用

森部 絢嗣(岐阜大学社会システム経営学環 准教授)

①13:00~14:30「岐阜県における野生動物の現状」

②14:40~16:10「野生動物の資源利用と可能性」

森林面積率が90%以上を誇る飛騨地域。広大な森からの恵みは木材や山菜、キノコなどのいわゆる林産物だけではなく、野生動物も立派な資源となります。まずは岐阜県における野生動物の現状を説明し、その後、野生動物を資源として利用するためにはどうすればいいのか、実際に狩猟で使う道具や動物調査の機器類、毛皮、標本などを触りながら、これからの飛騨地域の可能性について一緒に考えましょう。

14 文教大学

開講日 11/25(土)

サステナブルツーリズムとワーケーションの可能性

黛 陽子(文教大学国際学部 准教授)

①13:00~14:30「多様なサステナブルツーリズム」

②14:40~16:10「サステナブルツーリズムとワーケーションの可能性」

サステナブルツーリズム(持続可能な観光)を対象とした地球と地域生活と人間にやさしい観光のあり方について、基礎知識を習得し、最先端の取り組みまでを学ぶことを目的とします。サステナブルツーリズムの過去から現在については、ハワイをしのぐ国際観光島として欧米観光客に人気のインドネシア バリ島を事例とし、滞在する世界中の観光客が今現在望んでいるサステナブルツーリズムの形を多くの写真とビジネスモデルを紹介しながら、学びを深めていきます。

15 慶應義塾大学

開講日 11/26(日)

インドネシアの人びとの文化と暮らし:日本に近いイスラム世界

新井 和広(慶應義塾大学商学部 教授)

①13:00~14:30「インドネシアの歴史と文化」

②14:40~16:10「インドネシアの人びとの暮らしと宗教」

インドネシアは東南アジア最大の国家で、ムスリム(イスラム教徒)の人口が最も多い国でもあります。イスラムと聞くと遠い世界のように思えるかもしれませんが、日本との距離も比較的近く、多くの方が日本に興味を持っています。実際、インドネシアから飛騨を訪れる観光客もコロナ前は年間1万人を超えていました。この講座では近くて遠いインドネシアを理解し、心理的な距離を縮めてもらうことを目指します。一時間目にはインドネシアの歴史的な歩みと各地で培われてきた多様な文化について学びます。それをもとに二時間目では現在インドネシアに暮らす人びとがどのような生活を送っているのか、その中で宗教がどのような役割を担っているのかを学びます。

16 信州大学

開講日 11/26(日)

飛騨山脈の成り立ち2023

原山 智(信州大学理学部 特任教授)

①13:00~14:30「大河川流路変更の歴史-飛騨川、宮川、梓川」

②14:40~16:10「世界一若い花崗岩と飛騨山脈の急速隆起」

飛騨の地から望む北ノ俣岳、黒部五郎岳、笠ヶ岳、槍穂高連峰、乗鞍岳、御嶽山。この大パノラマは飛騨の宝ですが、太古の昔から存在したわけではありません。その壮絶とも云うべき300万年間の成り立ちの歴史を、45年間追求してきた研究成果をもとにお話ししたいと思います。参加された方は、飛騨の地によくぞ生まれたと誇りをもたれることと思います。